

令和5年5月8日

生駒市長 小紫 雅史 様

生駒市環境マネジメントシステム推進会議  
会長 矢田 千鶴子

## 環境監査報告書

生駒市環境マネジメントシステム推進会議(以下「当会議」という。)は、令和3年度における貴市の環境マネジメントシステムに基づく取組に関して、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

### 1.総合所見

#### 1-1 全般的事項

環境マネジメントシステム推進会議では、第3次生駒市環境基本計画、第2次生駒市環境モデル都市アクションプラン、生駒市SDGs未来都市計画の3つの計画に基づく施策の進捗管理を行っています。市の活動や、市内の事業者を含めた地域の皆さんの活動によって生じる様々な環境負荷を減らすために、継続的に取組を改善し、環境行動を推進するためのしくみとして、「生駒市環境マネジメントシステム」を運用しています。

令和4年度も、令和3年度に引き続き各部署へのヒアリングは事務局を通じて実施することとなり、各部署へ直接訪問して取組状況が確認できなかったことは残念です。令和5年度は各部署へ直接訪問してヒアリングを行う従来の形式に戻すことを検討していただければと思います。また、運用日程についても、監査日程が年度後半にずれこんだこと等に伴い、各部署の取組に対する適切な点検及び評価が困難でした。制度を運用する事務局の課題として、改善を図るようお願いします。

各部門の自己評価では、ほぼ取組計画(目標)どおりの実績をあげておられると読み取ることができそうですが、より一層の連携強化を図り、この環境マネジメントシステムを重要な仕組みとして活用し、長期的に継続・改善されることを期待します。

#### 1-2 個別的事項

##### (1) 各計画に基づく環境関連事業一覧

###### 【調査票】令和3年度の取組結果及び令和4年度の取組計画(目標)

それぞれの所属が第3次生駒市環境基本計画、第2次生駒市環境モデル都市アクションプラン、生駒市SDGs未来都市計画の3つの計画における具体的な事業を進めており、令和3年度の取組結果及び令和4年度の取組計画を記入していただきました。令和5年度以降も予定通りに各種事業を進めてください。

##### (2) エコオフィス、独自施策の取組状況等

###### 【エコオフィス取組状況アンケート】

前年度よりは回答数が多くなりましたが、回答率はまだまだ低いと感じるので、来年度以降

の実施時には、より多くの周知を行い、回答率が上がるような実施方法を検討してください。

### 1-3 各部署の監査方法について

今年度も、前年度と同様に各部署へのヒアリングは事務局が代行し、当会議では、ヒアリング内容を踏まえて取組状況を監査しました。直接訪問してヒアリングができなかったため、現場の空気や雰囲気をつかむことができなかったことは残念ですが、とりまとめ資料から、各所属がそれぞれに取組を推進していることを間接的に確認できました。

なお、直接ヒアリングを行わなかったために、施策ごとの取組内容・実績の把握が難しく、より詳細の資料があれば、より効果的な監査が可能であったことを付言しておきます。

今回、ヒアリングの対象にならなかった所属の方々についても、引き続き日常的な環境活動の啓発をしてください。

## 2.実施概要

### 2-1 実施方法及び監査対象

次のとおり、監査を実施しました。

	監査対象とする項目	監査対象所属
書面監査	・環境基本計画、環境モデル都市アクションプラン SDGs 未来都市計画に定めている各事業の取組状況	各計画の個別事業担当所属 24 ヶ所  総務課、防災安全課、地域コミュニティ推進課、SDGs 推進課、農林課、商工観光課、男女共同参画プラザ、環境保全課、清掃リレーセンター、地域包括ケア推進課、健康課、管理課、事業計画課、土木課、都市計画課、学研推進室、住宅政策室、建築課、みどり公園課、花のまちづくりセンター、下水道課、浄水場、こども課、子育て支援総合センター
エコオフィス取組状況アンケート	・エコオフィスの取組(全職員に共通した取組)、本来業務における環境配慮、独自施策(各部署の取組)の取組・実施状況	全所属
ヒアリング監査	書面調査票及びエコオフィスの取組・実施状況についての回答内容	上記の書面監査対象所属のうち、事務局が選定した5所属  農林課、商工観光課(観光振興室)、防災安全課、地域コミュニティ推進課、SDGs 推進課

## 2-2 実施内容

提出された所属毎の書面調査票とエコオフィス取組状況アンケートの回答結果について、事務局から各所属へヒアリングを実施。会議当日にヒアリング内容を踏まえて取組内容を監査しました。その後、ヒアリングの内容を踏まえて評価シートへ「評価できる点」「改善を要する点」を記入しました。

### ・書面監査及びエコオフィス取組状況アンケート

個別事業に関する進捗状況等【調査票】、【エコオフィス取組状況アンケート】を使用。調査票は該当所属のみ、エコオフィス取組状況アンケートは全職員対象(小中学校、指定管理者を含む施設等)

### ・ヒアリング監査

#### ①ヒアリング先の選定

全ての所属の中で、以下の観点からヒアリング項目を選定しました。

#### 【選定の観点】

- ・昨年度の監査において、特に今後の進捗状況を注視したいといった意見があった取組を中心に選定
- ・SDGs 推進課の記載分

#### ②ヒアリングの実施

提出された帳票をもとに、事務局が各所属へヒアリングを実施しました。

## 3. 監査結果

### 3-1 各所属の監査結果一覧

所属名	評価できる点	所見
防災安全課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハザードマップの周知の推進。</li> <li>・ハザードマップの増刷。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保管日数切れ防災食を活用した訓練を推進してほしい。</li> <li>・ハザードマップのアプリ化の検討をお願いしたい。災害情報の見える化、避難所の状況の発信なども取り入れてほしい。</li> <li>・防災訓練の支援等も継続してほしい。</li> </ul>
幼保こども園課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園での様々な取組は将来の社会のためにも良い。</li> </ul>	
地域コミュニティ推進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複合型コミュニティづくりの促進。</li> <li>・自治会の集会所への太陽光発電の設置整備計画。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複合型コミュニティづくりについて、自治会単位での普及啓発を促進し、目標値を上げて取り組む自治会の積極的増を図ること。</li> </ul>

農林課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市域全体の森林調査資料が完成し、次のステップへ進んでいること。</li> <li>・ICT を活用した農業の検討。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林の活用について、具体的な運用方針の策定に県のフォレスター活用を検討してほしい。</li> <li>・AI を活用したトマト栽培の話も話題になっているので、生駒市においても具体的に ICT を取り入れた農業を推進してほしい。</li> </ul>
商工観光課 (観光振興室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高山エリアの魅力を発信するリーフレットが完成したこと。</li> <li>・ワーケーションプログラムの充実。</li> <li>・生駒市ならではの体験コンテンツの販売を東大阪市や民間企業と共同で取組んで、生駒山周辺の観光を促進されているのは良いと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生駒山のコンテンツを組み合わせたワーケーションの受入れ、プログラムの造成はどのくらいの需要があるのか、何名利用されたのか知りたい。</li> </ul>
清掃リレーセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食器市、リユース市の開催。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣類、家具など色々なもののリユースを進めてほしい。</li> </ul>
みどり公園課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山づくり補助金の交付。</li> <li>・プロセスを示して計画を実行している。フォロワー数も増え、効果を確認できること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金交付したことにより、どのような里山文化を目指しているのか等もう少し具体的に明示してほしい。</li> </ul>
給食センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食材の地産地消の促進に取り組んでいること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちに生駒市産の食材が使われていることを伝えてほしい。可能なら子どもたちが収穫に参加できればよいと思う。</li> </ul>
住宅政策室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いこま空き家流通促進プラットフォームの成立。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さらなる空き家の流通を促進して、空き家の減少と、空き家を利用する若者の生駒市への移住が増えることを期待したい。</li> </ul>
事業計画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT を活用したオンデマンド型交通サービス導入の検討。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部の路線バスの廃止が提案されているので、その問題の解消のために積極的に、具体的に検討を進めてほしい。</li> </ul>
SDGs 推進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生メニューコンテストにエコメニュー賞を設定したこと。</li> <li>・食品ロス削減の啓発で協力店を増やしてフードドライブに取り組まれていること。年間に1店舗増は少ないように思うが、引き続き取組を進めてほしい。</li> <li>・いこま市民パワーと連携してエネルギーの地産地消を目指していること。</li> <li>・ICT を活用した見える化による温室効果ガス排出量削減の検討。</li> <li>・エコまちづくり応援補助金、環境保全に積極的な自治会への支援、置き配バッグの購入補助。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品ロス削減の取組の周知・啓発の有効性を確認できる数値データが必要。また取組結果を踏まえた計画目標値及び目標達成のためのプロセスを設定してほしい。</li> <li>・食品ロス削減協力店をもっと積極的に増やすべき。</li> <li>・検討中のままのものが多いので、経過を公表し、期限を区切り実行してほしい。</li> <li>・いこま市民パワーの運営は、令和4～5年度は厳しい状況が予想される。対応を検討していただきたい。あわせて、今後も同様のコミュニティサービスを継続できるのかについても検討が必要である。</li> <li>・いこま市民パワーによる電力供給拡大やコミュニティサービスに取り組まれているが、電力供給件数はあまりにも限られた数なので、原因を分析するとともに、いこま市民パワーの周知についても取組んでもらいたい。</li> </ul>
環境保全課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フードドライブの継続。</li> <li>・環境施設見学会の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美化委員の認識・意識を向上させてほしい。</li> <li>・キューロ啓発促進としてキューロの製作・販売を進めてほしい。</li> <li>・環境施設見学会の一般市民の参加者数が増えるための工夫をして欲しい。</li> </ul>

全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内各所属のエコチェックはほぼ達成されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組状況アンケートの質問項目の内容更新がない。また、回答率も45%と低い。</li> <li>・エコオフィス取組状況アンケートへの回答は任意ということだが、重要な取組であるのならば調査方法を再検討すべき。</li> <li>・環境に取組んでいる各団体を集めて、市の方針を説明し、協力を求めているかどうか。</li> </ul>
----	--	---

#### 4.次年度の運用における改善点

令和4年度の運用において、以下のような改善点がありましたので、令和5年度の運用方針等に反映してください。

- ・令和3年度の実績及び令和4年度の目標について、数値での記載がない所属が多い。次回以降は、数値化できるものは数値化し、目的・目標・着地点を明確にすることを心がけてほしい。
- ・令和4年度は当初予定していたスケジュールから遅れがあったので、令和5年度はスケジュールを前倒してほしい。
- ・ヒアリングについて、コロナウイルス流行以前の、委員が各所属に直接訪問してヒアリングする方法に戻すことを検討してほしい。
- ・取組状況調査票の記載事項(説明内容)が不十分で評価できない部分があった。ヒアリングを行わないのであれば、より詳細の資料があったほうがよかった。

## 5.エコオフィス取組状況アンケート回答結果

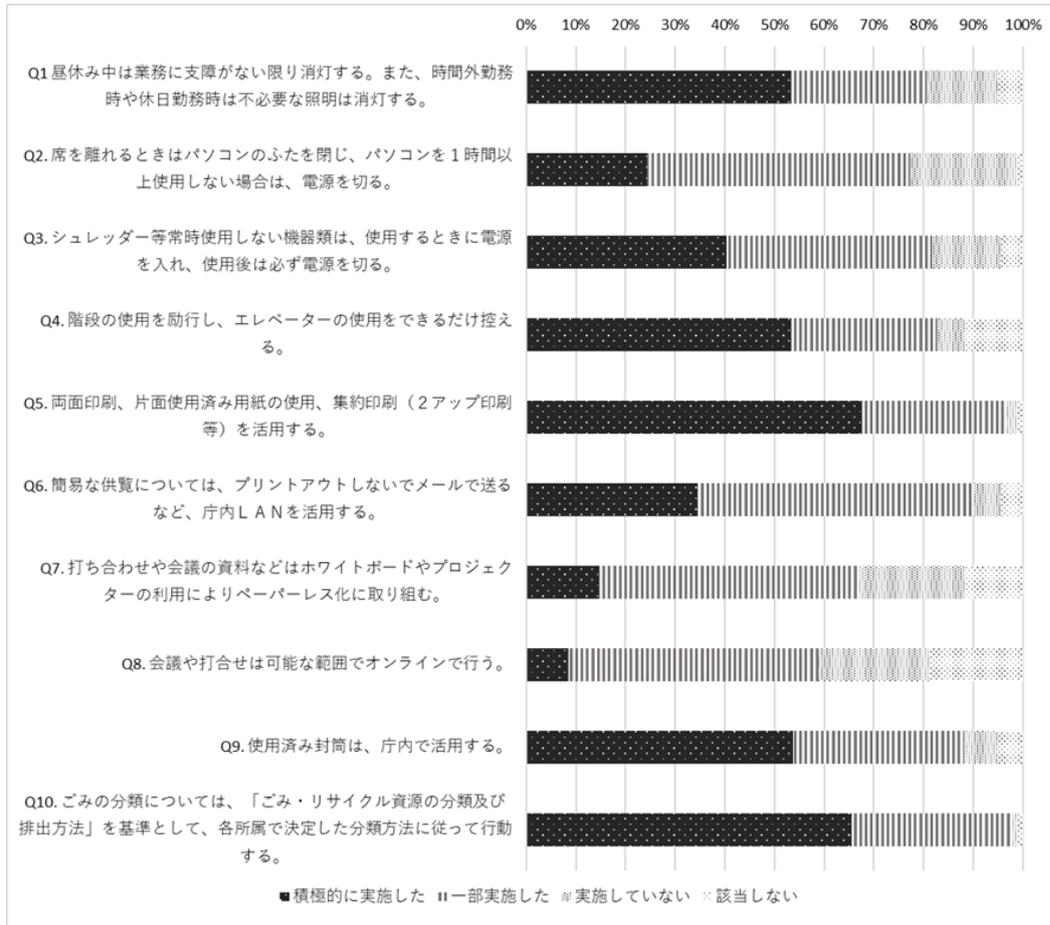
実施期間:令和4年8月18日～9月18日

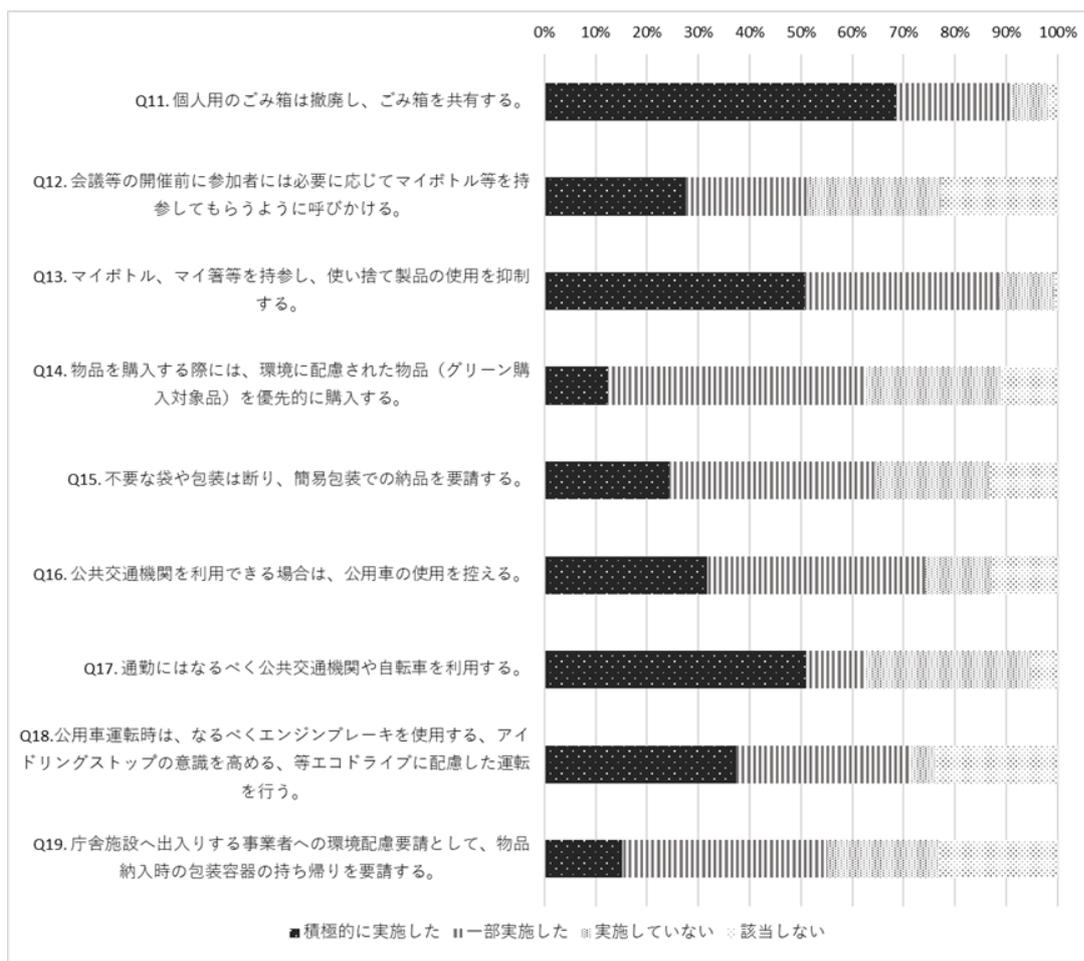
【全体】

対象者数:929

回答数:423

回答率:45%





Q20:エコオフィスの取組で、Q1から Q19 以外のことを実施されている場合、以下にご記入ください。

- ・Web 会議環境の整備、会議室・打合せスペースへのディスプレイ配布等を実施し、ペーパーレス会議 /Web 会議等の推進に寄与している。
- ・緑地の保全や緑化の推進により、脱炭素化や生き物の生息環境保全に寄与している。
- ・極力電子文書で保管している。
- ・保育園という現場の中で、職員だけでなく園児にもエコの話(ゴミの分別・原料について)をすることで、園児たちのエコの意識を高めている。
- ・エコ推進担当の職員を中心に、子ども達が分かりやすく学ぶ機会を作り、エコ推進の取り組みをしている。
- ・子どもたちが水遊びに使った水が、たらいに残った場合は、栽培物や花の水やりで使用している。
- ・裏紙、広告や梱包用緩衝材の活用。
- ・使用済みの紙の余白部分を切り取り、メモに利用している。
- ・使用済みの付箋紙を自分の作業用に何度も使用する。
- ・手洗い時の石鹸使用時は水を止める等、節水に努める。
- ・B5、A4、B4 の片面印刷用紙は、必ず区別して残している。そして、紙面を印刷する時、提出する書類以外はその用紙をリサイクルして印刷するようにしている。
- ・保育室のごみ箱を複数置き、園児が進んでごみの分別を行えるように環境を整えているとともに日々の生活の中でも身につくように指導している。
- ・制作活動などで使用する材料についても必要な分量のみ使い、リサイクルできるように指導している。

- ・毎週木曜日を「リサイクルでい」とし、家庭の協力を得ながら古紙回収、アルミ缶回収等に取り組んでいる。
- ・気がつけば unnecessaryな電気を消したり、トイレトーパー等紙の無駄使いをしないようにしている。
- ・幼稚園(PTA)の取り組みとして、地域の古紙回収に資源になるものは分別して出している。
- ・エアコンの温度はむやみに下げず、サーキュレーターを活用している
- ・幼稚園でも保育中、トイレが終わればマメに電気を消している。また、行事等で保育室を離れる際も、消灯には気を配っている。
- ・廃材などを遊びに活用している。
- ・教材庫を整理し、使える材料がすぐにわかるようにし、最低限の購入で良いようにしている。
- ・ウォームビズを含めたエコスタイルの実践。
- ・ゴミ箱のゴミ袋はコピー用紙の包紙や使用した封筒を活用している。
- ・FAX をデータ管理し、必要なもののみを印刷するようにしている。
- ・生駒駅前第2自転車駐車場の電灯を LED に切り替え済。
- ・空調の設定温度を冷房 28.0℃、暖房 20.0℃に設定し、中間期は窓を開けて、省エネ環境配慮している。生駒南南駐車場については、日中は、太陽光が入るため、各階出来るだけ照明を消灯し、夕方に照明を点灯し、省エネに努めている。
- ・児童の活動としてエコキャップの取組を行っている。
- ・雨水タンクを利用した花壇維持、紙のリサイクル、ペットボトルのキャップの回収、給食の牛乳パックの回収時に全てたたんでのビニール袋の節約
- ・トイレや廊下の自動消灯設定。校舎屋上のソーラーパネル設置。発電量のモニター掲示

Q21:エコオフィスの取組以外で、本来業務における環境配慮や所属で取り組んでいる独自の環境施策があれば、以下にご記入ください。

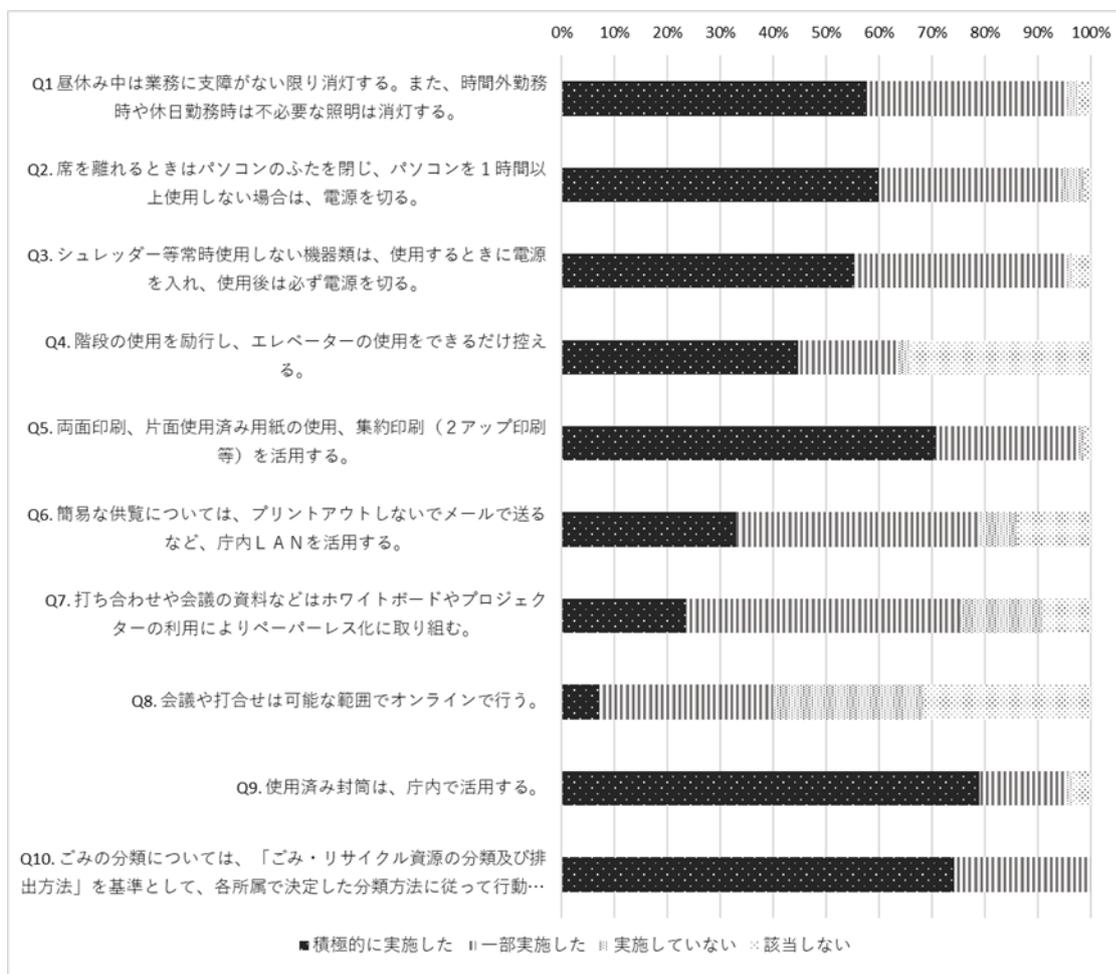
- ・使わない部屋の電気の使用は電源を落としている。
- ・買い物時のエコバッグ使用。
- ・自動車に乗らず、近距離は歩く。
- ・電気の消灯を心がける
- ・幼稚園の備品等、大切に扱い、長く使用できるように日々努めている。
- ・今年度よりペーパーレス FAX を実施し、紙の無駄遣いを減らす取り組みを行っている。
- ・就業時の個人で出したごみについては持ち帰りを徹底。(市販弁当のゴミやペットボトルは持ち帰りをお願いしている)
- ・児童・教職員の環境保全等、持続可能な社会の実現のために、SDGs 教育への取組を開始した。本格的な実施は令和 5 年度より行う。
- ・節電・節水に努めるよう、児童や職員間で積極的に声掛け、確認をするようにしている。
- ・スーパーエコスクール認定以来、学校全体での環境教育の推進とエコ活動の取組継続。

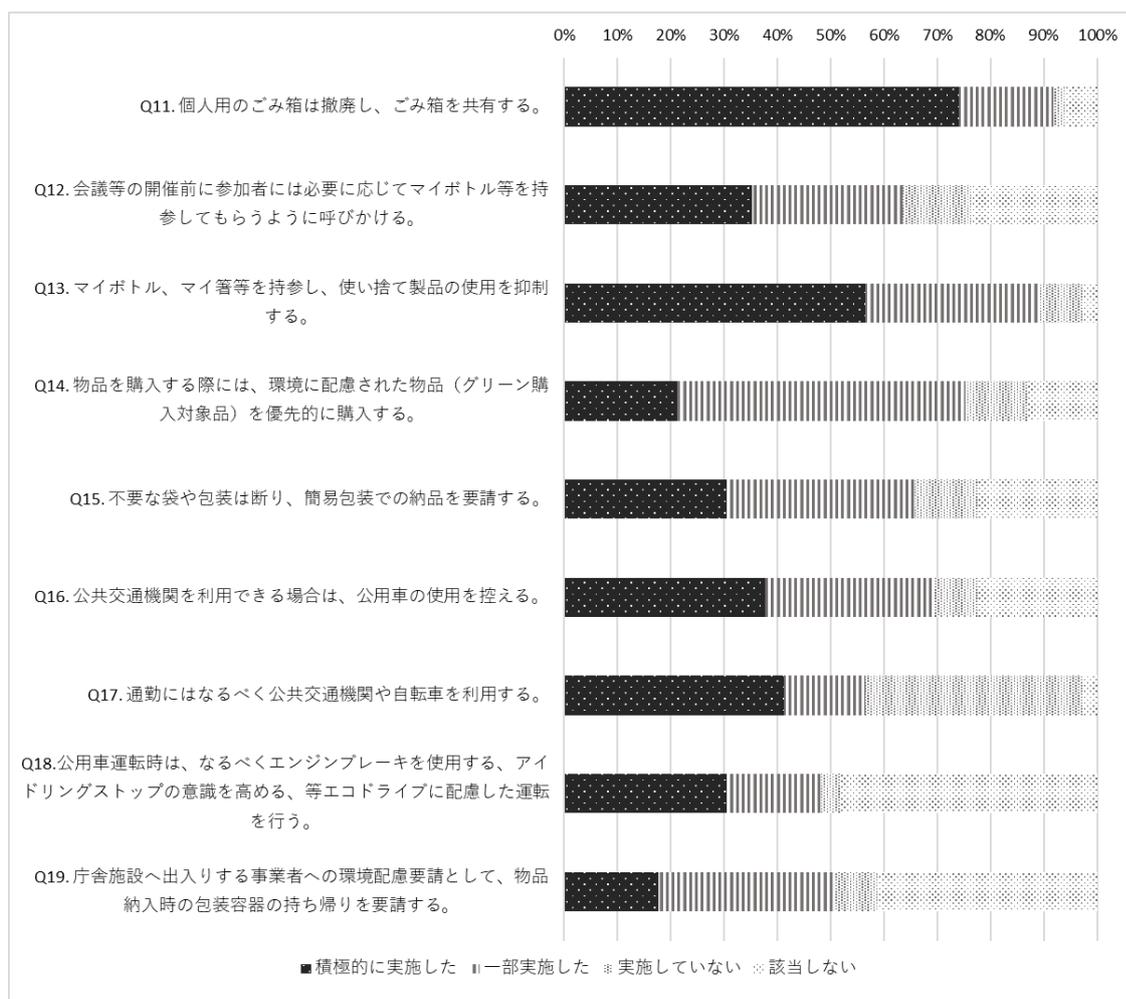
【教育関係(小中学校、幼稚園、保育園)】

対象者数:141

回答数:85

回答率:60%





Q20:エコオフィスの取組で、Q1から Q19 以外のことを実施されている場合、以下にご記入ください。  
 ・職員だけでなく園児にもエコの話(ゴミの分別・原料について)をすることで、園児たちのエコの意識を高めている。

- ・ゴミの分別をすること(紙、プラ、燃えるごみ)。
- ・リサイクルゲームの実施(ごみはどんなものに生まれ変わるのかクイズにして遊びエコについて学ぶ)。
- ・エコ推進担当の職員を中心に、子ども達が分かりやすく学ぶ機会を作り、エコ推進の取り組みをしている。
- ・子どもたちが水遊びに使った水が、たらいに残った場合は、栽培物や花の水やりを使用している。
- ・保育室のごみ箱を複数置き、園児が進んでごみの分別を行えるように環境を整えているとともに日々の生活の中でも身につくように指導している。
- ・制作活動などで使用する材料についても必要な分量のみ使い、リサイクルできるように指導している。
- ・毎週木曜日を「リサイクルでい」とし、家庭の協力を得ながら古紙回収、アルミ缶回収等に取り組んでいる。
- ・B5、A4、B4 の片面印刷用紙は、必ず区別して残している。そして、紙面を印刷する時、提出する書類以外は、その用紙をリサイクルして印刷するようにしている。
- ・幼稚園(PTA)の取り組みとして、地域の古紙回収に資源になるものは分別して出している。
- ・エアコンの温度はむやみに下げず、サーキュレーターを活用している
- ・幼稚園でも保育中、トイレが終わればマメに電気を消している。また、行事等で保育室を離れる際も、消灯には気を配っている。
- ・廃材などを遊びに活用している。
- ・教材庫を整理し、使える材料がすぐにわかるようにし、最低限の購入で良いようにしている。
- ・児童の活動としてエコキャップの取組を行っている。
- ・トイレや廊下の自動消灯設定。校舎屋上のソーラーパネル設置。発電量のモニター掲示

Q21:エコオフィスの取組以外で、本来業務における環境配慮や所属で取り組んでいる独自の環境施策があれば、以下にご記入ください。

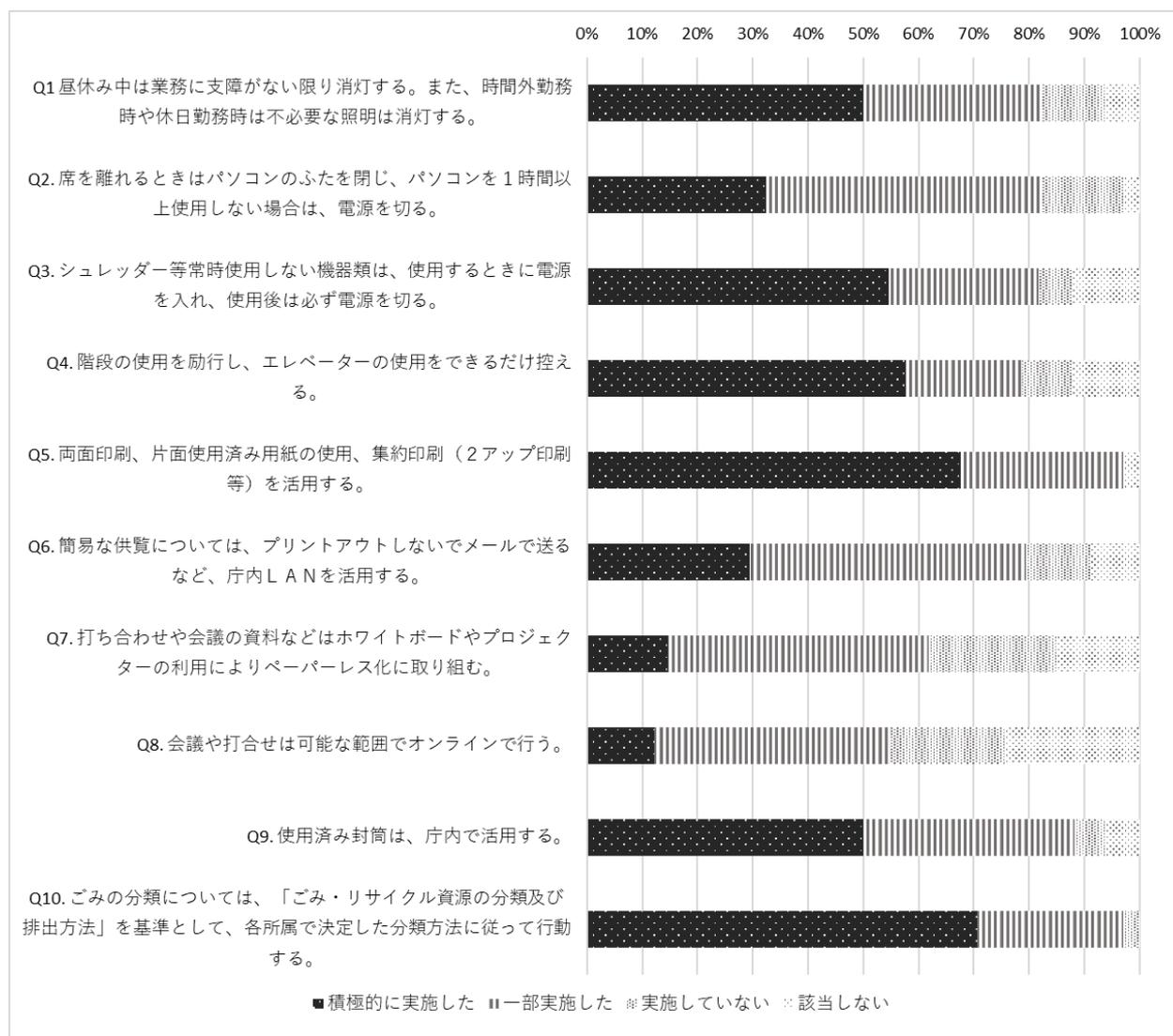
- ・幼稚園の備品等、大切に扱い、長く使用できるように日々努めている。
- ・使わない部屋の電気の使用は電源をおとしている。
- ・画用紙等の切り方に配慮し、余ったものは別の機会に使えるようにある程度の形をそろえ、整頓して置いておく
- ・児童・教職員の環境保全等、持続可能な社会の実現のために、SDG's 教育への取組を開始した。本格的な実施は令和5年度より行う。
- ・節電・節水に努めるよう、児童や職員間で積極的に声掛け、確認をするようにしている。
- ・スーパーエコスクール認定以来、学校全体での環境教育の推進とエコ活動の取組継続。

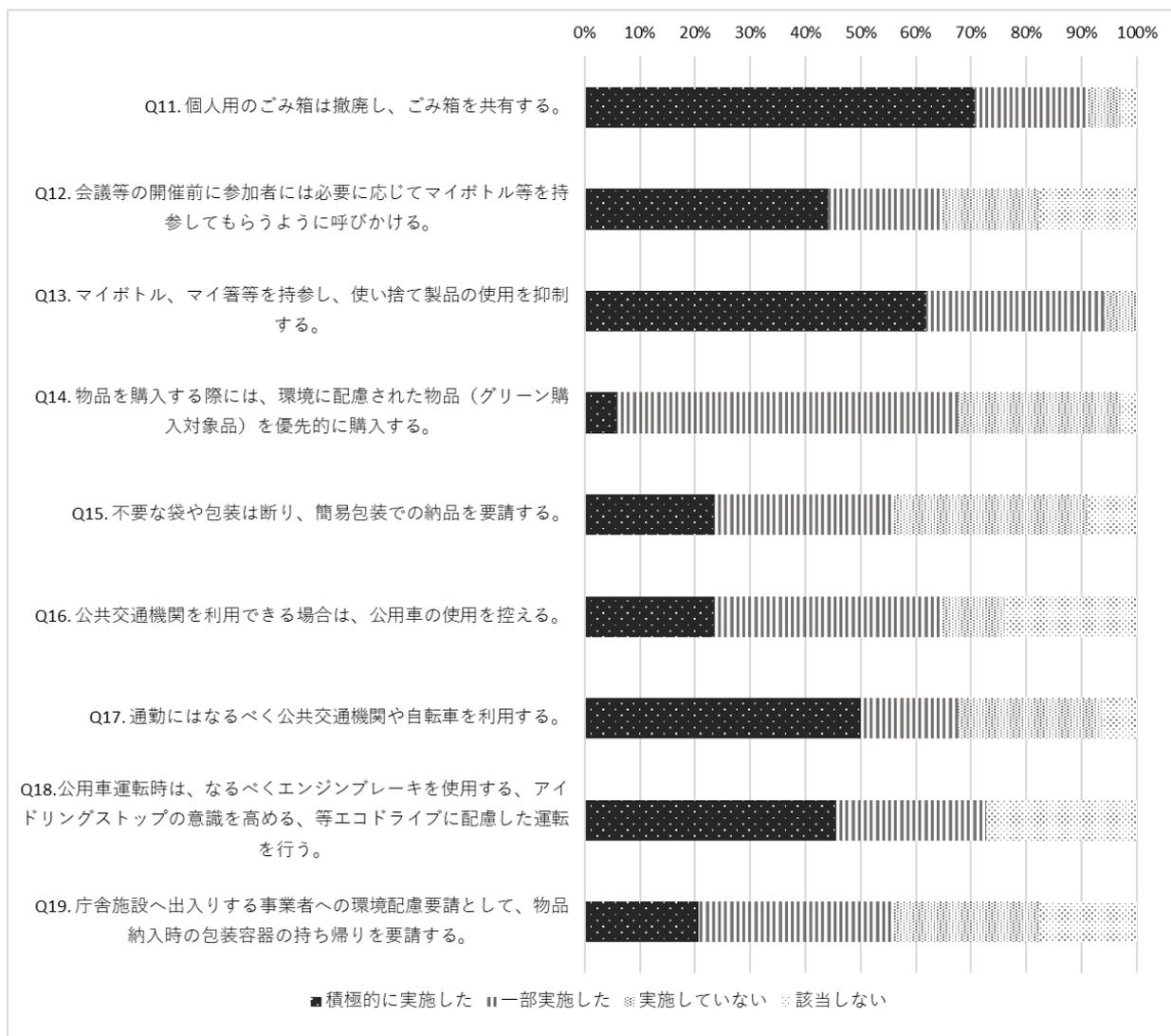
【施設関係】

対象者数:123

回答数:34

回答率:28%





Q20:エコオフィスの取組で、Q1から Q19 以外のことを実施されている場合、以下にご記入ください。

- ・下水処理場の運転で使用する電力量について、毎年維持管理者とアイデアを出しあい節電運転を実施している。
- ・空調の設定温度を冷房 28.0℃、暖房 20.0℃に設定し、中間期は窓を開けて、省エネ環境配慮している。生駒駅南駐車場については、日中は、太陽光が入るため、各階出来るだけ照明を消灯し、夕方に照明を点灯し、省エネに努めている。
- ・不要になった内容に問題の無い書類は、裏の白紙に再度印刷するか、切ってメモ用紙として再利用している。
- ・使用済みの紙の余白部分を切り取り、メモに利用している。
- ・手洗い時の石鹸使用時は水を止める等、節水に努める。
- ・ゴミ箱のゴミ袋はコピー用紙の包紙や使用した封筒を活用している。
- ・FAX をデータ管理し、必要なもののみを印刷するようにしている。
- ・生駒駅前第2自転車駐車場の電灯を LED に切り替え済。

Q21:エコオフィスの取組以外で、本来業務における環境配慮や所属で取り組んでいる独自の環境施策があれば、以下にご記入ください。

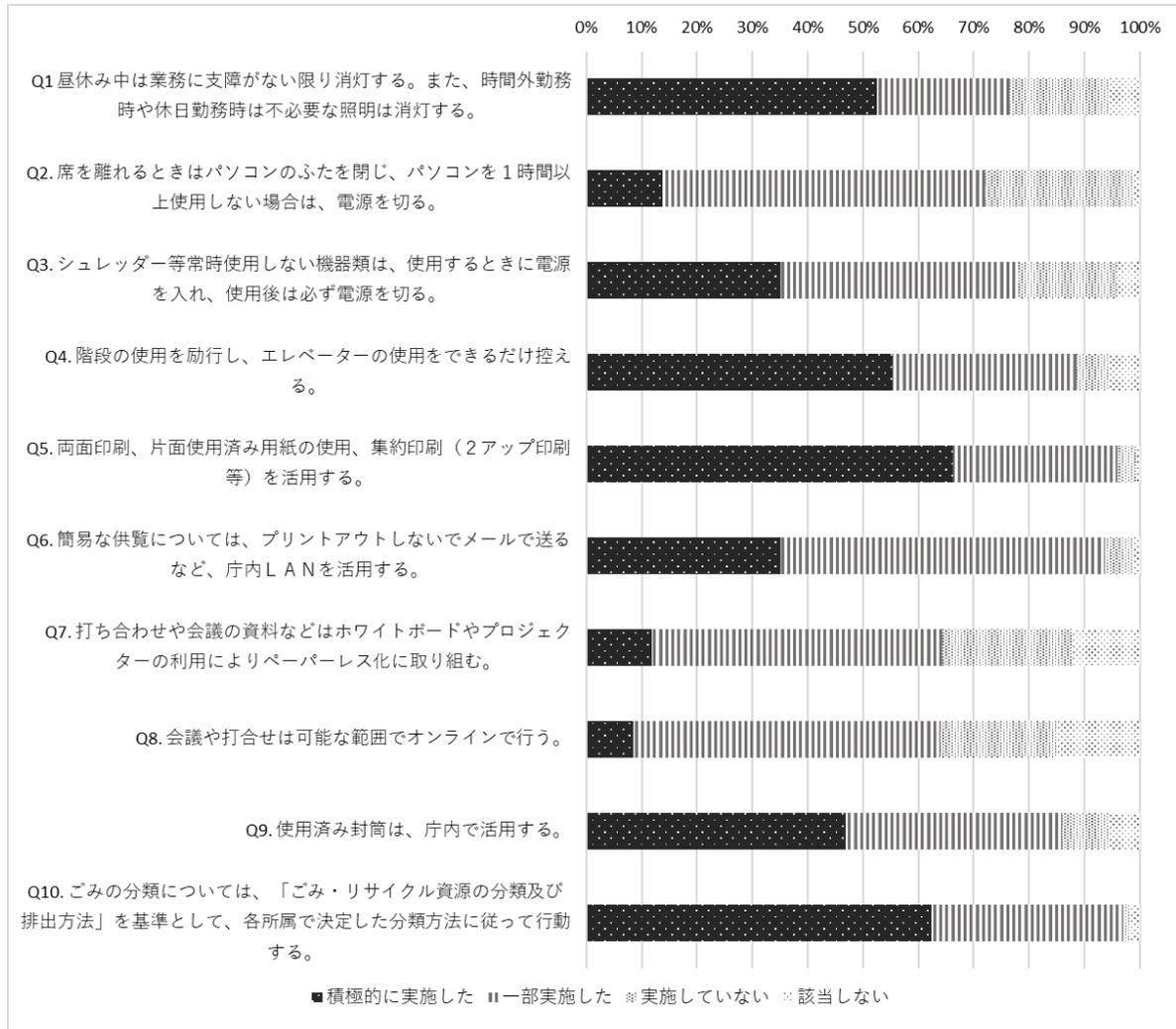
- ・使わない部屋の電気の使用は電源を落としている。
- ・電気の消灯を心がける
- ・就業時の個人で出したごみについては持ち帰りを徹底。(市販弁当のゴミやペットボトルは持ち帰りをお願いしている)

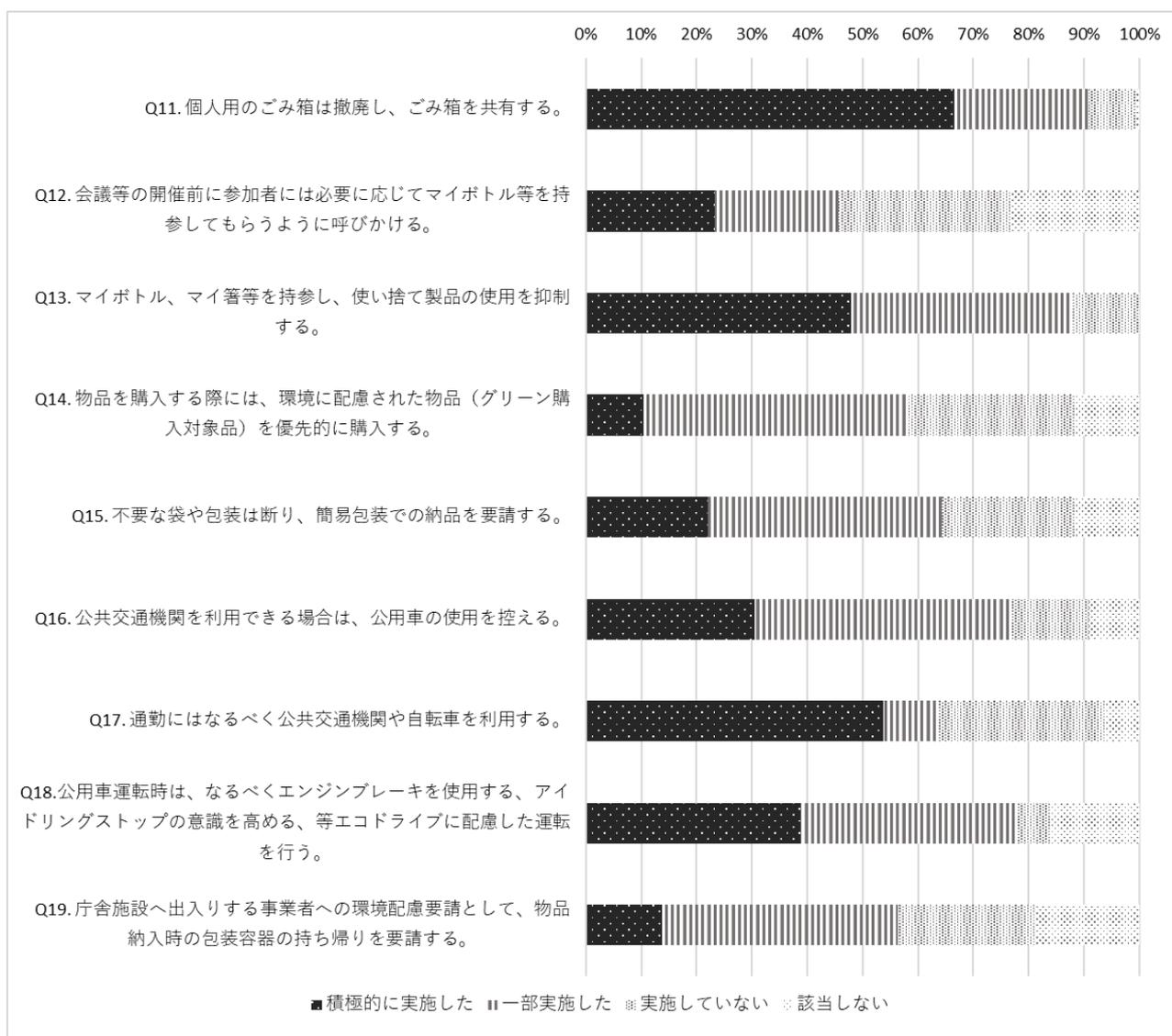
【その他(庁内各課・水道・消防・図書館等)】

対象者数:665

回答数:305

回答率:46%





Q20:エコオフィスの取組で、Q1から Q19 以外のことを実施されている場合、以下にご記入ください。

- ・使用済みの紙の余白部分を切り取り、メモに利用している。
- ・乾電池の再利用
- ・気がつけば unnecessaryな電気を消したり、トイレトーパー等紙の無駄使いをしないようにしている。
- ・ウォームビズを含めたエコスタイルの実践。

Q21:エコオフィスの取組以外で、本来業務における環境配慮や所属で取り組んでいる独自の環境施策があれば、以下にご記入ください。

- ・極力電子文書で保管
- ・緑地の保全や緑化の推進により、脱炭素化や生き物の生息環境保全に寄与している。